第１学年　学級活動（交通安全）　　　　　　　　　　　　　　　　 場所：家庭科室

通学路の安全な歩き方

指導者　　涌井　慶子

ゲストゲストティーチャー（ＧＴ）東京都青少年・治安対策本部総合対策部交通安全課

**１　目標**

　・道路における様々な危険や交通ルールについて理解し、安全に歩行できるようにする。

　・横断歩道の安全な渡り方や雨の日の安全な歩行の仕方を確認する。

**２　新学習指導要領との関連【学級活動】内容（２）－ウ　心身ともに健康で安全な生活態度の形成**

現在及び生涯にわたって心身の健康を維持することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

**３　単元について**

「日常的な安全指導」としては、年間計画に基づき、朝の会や帰りの会、学級活動の時間において、安全に登下校できるように道路の歩き方や交通ルールなどについて繰り返し指導をしている。「定期的な安全指導」としては、月１回の安全指導の時間に校内や校外での安全な過ごし方を指導したり、校外班活動で通学路における危険箇所の確認や安全な歩行の仕方を確認したりしている。また、交通安全教室では、道路の正しい歩行を学習した。

入学当初、児童は保護者や教職員に見守られながら交通ルールを意識して登下校していたが、３学期になると学校生活にも慣れ、気の緩みから交通ルールを守らない児童が増えてきた。雨の日に傘を目深に差して前を見ずに歩行したり、道に広がって歩いたりして、自転車や自動車に接触しかける児童もいる。

これらの状況と児童の実態から、通学路で起こり得る事故を自分の事として捉え、安全に気を付けて行動する意識を高め、安全な歩行の仕方を身に付けることが必要であると考えた。そこで、本単元では、雨の日の歩行や自転車との接触に関わる映像資料を見て、危険予測や危険回避を考え、歩行者シミュレータを体験することで通学路の安全な歩き方を確認する。

**４　主題に迫るための手だて**

　・自作の映像資料を使い、通学路を歩行するときの危険を予測する。

　・歩行者シミュレータの体験を通して、通学路の安全な歩き方を考え確認する。

**５　指導計画　（２時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ☆ねらい　○学習活動 | ◎安全教育の視点に立った留意点　■評価 |
| １ | ☆道路を歩くときの危険を予測し回避する方法を考える。○今までに交通事故に遭いそうになった経験を振り返る。○自作の映像教材を見て、歩行中に起こり得る危険を予測する。○危険を回避する方法を考える。 | ◎映像資料として、視界が悪かったり、不注意から事故に遭ったりすることが予測される場面を取り上げる。■危険予測をしている。■危険回避の仕方を考えている。 |
| ２(本時) | ☆歩行者シミュレータの体験を通して、通学路の安全な歩き方を確認する。○前時に学習した通学路の安全な歩き方を振り返る。○道路横断中の危険について、歩行者シミュレータの体験を通して考え、確認する。 | ◎ＧＴ（東京都青少年・治安対策本部総合対策部交通安全課）を招き、歩行者シミュレータを体験することで、学習したことを確認する。■歩行者シミュレータの体験を通して、安全な歩行の仕方について確認している。 |

**６　本時の展開 （２／２）**

**（１）ねらい**

　　・歩行者シミュレータの体験を通して、道路の安全な歩き方を確認する。

**（２）指導の実際**

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動　・予想される児童の反応 | ◎安全教育の視点に立った留意点■評価（評価方法） |
| ○前時に学習した道路を歩行するときの危険と回避する方法について振り返る。・横断歩道を渡るときは、右・左・右を見て、手を挙げて渡るよ。・慌てて飛び出すと危ないから、慌てないよ。・道路は広がって歩かないよ。ほこうしゃシミュレータをたいけんして、あんぜんなあるきかたをかんがえよう○歩行者シミュレータを体験する。・右・左・右の確認をして、横断歩道は手を挙げて渡ろう。・車の陰から、自転車が出てきたよ。・自転車が来るかもしれないから、車で陰になっているところも確認して歩こう。・雨の日は、周りがよく見えないので、周りをよく見ながら気を付けて歩こう。・青信号でもよく確認して歩こう。○本時の学習を通して、分かったことや感想を話し合う。・車の陰からバイクや自転車が出てくるかもしれないから気を付けようと思いました。・雨の日は暗くてよく見えないから、明るいときより気を付けて歩こうと思いました。・傘を持っていても、きちんと前を見て歩こうと思います。○交通安全について、ＧＴのお話を聞く。・交差点て、飛び出すと危ないんだね。・信号は、点滅したら渡らないか、すぐに渡り切るかどちらかにしよう。でも、渡り始めたばかりでは、　どうすればよいのだろう。 | ◎前時の学習で危険予測した場面の写真を掲示して、回避する方法を確認する。◎小グループに分かれて、自分で体験するだけでなく、友達の行動も気を付けて見るようにする。■歩行者シミュレータで、今までに学習した危険予測と回避の仕方を意識して、安全に歩行している。（態度）◎実際に体験してみて、改めて気付いたことがあれば、発表させる。■歩行者シミュレータの体験を通して、安全　な歩行の仕方について分かったことを考えている。（発言）◎どのような状況で事故が起こりやすいのか、道路を歩く上での危険や回避の方法について、ＧＴに話していただく。 |